

# 新・がんと働く悩み Q&A 第1回

質問 入院治療で仕事を休む際に、注意しておくことは何ですか。

まず会社の就業規則の「休職/欠勤」の項目をよく確認してください。休職は法律で定められている制度ではありませんので、休職を採用するかどうか、また休職の内容(休職事由や賃金の有無、休職期間の長さ等)は会社の裁量で決めることができ、通常は就業規則により運用されています。上司が「好きなだけ休んでいい」と声をかけてくれたのに、定められた休職期間を超えたため、自動退職につながったケースがありました。治療で仕事を休む必要がある場合は、主治医の診断書を提出し、人事部や総務部と、可能であれば職場の上司をまじえて、就業規則をもとにどのくらい会社を休むことができるか相談してください。職場の上司が善意で対応しても、双方が就業規則を理解していなかったために、十分な支援を得られない場合も考えられます。仕事を休む場合は、人事部や総務部へ有給休暇や欠勤の取り扱いについての確認も忘れないでください。体調がすぐれず、会社と連絡を取るのがつらいときは、家族や知人の助けを求めましょう。復職できる手続きを行った上で、治療に専念するのが理想です。

(国立がん研究センター がん情報サービス  
「がんと仕事のQ&Aがんサバイバーの就労体験に学ぶ 第3版」より)

みんなの川柳

豊田市民 川柳募集 皆さんの川柳募集中だよ

## 【第3回】患者さんの無料就労相談会を開催します。

2023年12月10日(日)  
10:00~12:00  
とよた市民活動センター 研修室にて(予約制)

〈第4回 2024年2月24日(土)〉  
第4回以降の時間・場所については決まり次第HPIにてご案内します。会場の都合で日程が変更される場合もありますのでご了承ください。

## 【ご報告】患者さんの無料相談会

インディペンデント初の試みである、患者さんの無料相談会を8月と10月に、とよた市民活動センターで実施いたしました。職場復帰の相談と退職の相談が主で、相談業務の必要性をますます感じる事ができました。

編集後記

秋を味わう間もないままに冬が来てしまいました。11月は日も短く寂しい感じがしますが、もうすぐ12月。クリスマスイルミネーションが煌(きら)めき明るくなりますね。今年は、ご自分に何のプレゼントを用意しますか?物もいいですが、旅やコンサートなどの思い出になる時間のプレゼントもいいですね。まだご用意されていない方も大丈夫!今からゆっくりと探してみてくださいね。さて、今号が今年最後のインディペンデント通信となります。今年もみなさんと一緒に歩んできました。来年もまた楽しい通信をお届けします。良いお年をお迎えください。風邪ひかないでね。

♪ご寄付をありがとうございました♪

名越睦子様  
赤羽和久様  
天野正志様

ご意見・ご感想など、どんなことでも構いません。あなたのご意見をお待ちしております。

## がん患者さんの就労支援 インディペンデント

とよた市民活動団体登録番号 A17002

(代表) 天野 初音 (社会保険労務士)

〒473-0906 豊田市竹町谷間120番地 | Fax: 0565-47-7866

ホームページ



Mail



facebook



Twitter X(エックス)



がん患者さんの就労支援インディペンデントは会員を募集しています。

協賛広告を入れずに無料で配布しているため、あなたにお届けする送料と印刷代が必要です。

賛助会員やご寄付は大歓迎です!お気軽にお声かけください。

インディペンデント通信ではユニバーサルデザインフォントを導入しています。

とよた市民活動団体登録番号 A17002

# インディペンデント通信

「知ることでよりよく生きる」

がん患者さんの自立と自律を「働く」ことを通じて応援します。  
(インディペンデントは社会保険労務士と専門家らでスタートした市民活動団体です。)

一緒に考えましょう!

第25号 2023.12

社会保険労務士 ゆうこりん



こんにちは、ゆうこりんです。今号のテーマは「ちょっと待って! その退職!!」です。患者さんから退職についての相談は多く、退職して後悔されている方もたくさんいらっしゃいます。その一方で退職せざるを得ない場合もあります。そんな時、退職しないで働くにはどうしたらよいか?を特集しました。



## ちょっと待って! その退職!!

がんと診断されてすぐ「退職」を考えていませんか?



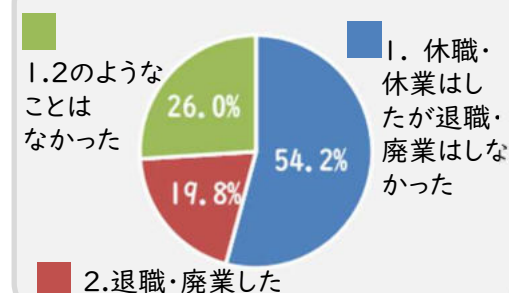
えーっ。ショックでやめたくなくなっちゃうよー!!

質問1. がんと診断されて、どれくらいの方が退職しているのですか?

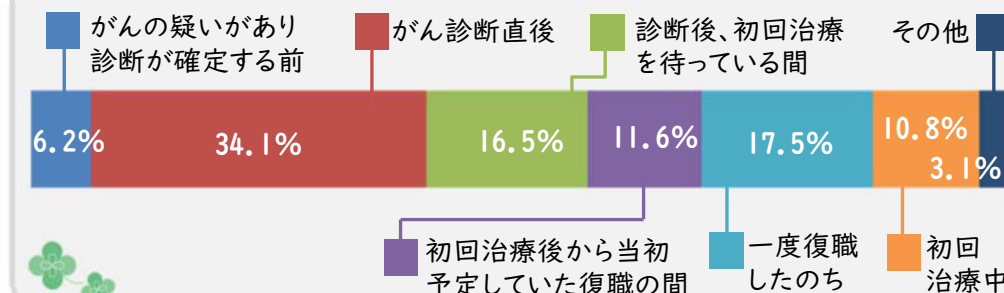
インディちゃん

回答1. がんと診断された人の5人に1人(19.8%)は退職・廃業しています。そのうち約6割(56.8%)が最初の治療までに退職しています。退職ののち、再就職・復職の希望はあるのに無職の人は22.5%にも上ります。

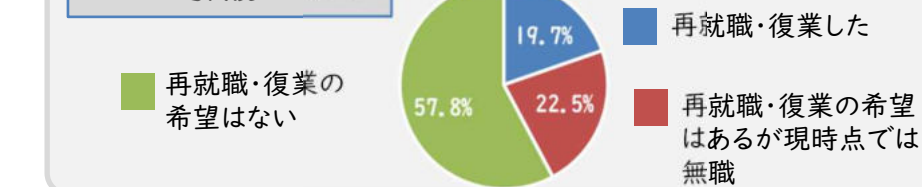
### 1-1. がん診断後の就労への影響



### 1-2. 退職のタイミング



### 1-3. 退職後について



出典:厚労省委託事業「平成30年度患者体験調査報告書」国立がん研究センターがん対策情報センター



退職してしまうと、なかなか再就職は厳しいのね。がんと診断されると精神的なショックは大きいですが、そういう時こそ重大な決断は避けましょうね。

質問2. なぜ、がんと診断されても退職しない方がいいのでしょうか?

回答2. がん治療は日々進化し、「がん=死」ではなく「長く付き合う病気」となり、治療には経過観察も含め長期にわたるため、経済的な問題がおきてきました。一方で国の後押しで働ける環境ができつつあります。長い目でみる事が大切です。

### 2-1. 医学の進歩で仕事ができるようになってきました

- 効果の高い治療薬や辛(つら)い副作用を抑(おさ)える薬が続々と出てきています。
- 入院ではなく、外来での抗がん剤治療が増えてきました。

### 2-2. 長期にわたるお金の不安を避けましょう

- 高額な治療費(新しい薬や検査は高価です)や長期にわたる治療が必要となる場合があります。
- 治療の効果で長く生きられるようになった反面、老後の経済的不安が問題になってきました。

### 2-3. 働ける職場環境への理解が進んでいます

- 国も治療と仕事の両立に力を入れ、医療機関や企業も治療と仕事の両立支援の体制を作りつつあります。